

理事会だより

第 51 号 発行:令和 2 年 8 月 31 日

令和 2 年度第 4 回 (R2.8.18) 理事会の会議状況や決定したことについてお知らせします。第 4 回の理事会は、理事 9 名中 9 名が、監事 2 名中 2 名が、事務局から 1 名の職員が出席しました。第 4 回の議事は、報告 5 件(事業実績/業務報告/定例監査結果報告書について/正味財産増減計算書における収支状況及び資金繰表について/出雲市シニア調査結果報告書(生涯現役事業)/議案 1 件(正会員の承認)、協議 1 件(財政見込について)等でした。

事業実績について

6 月の受注実績(請負・委任・派遣の合計額)は、4,266 万 8 千円、7 月の受注実績(同)は、4,067 万 8 千円でした。前年は 6 月が 4,192 万 7 千円、7 月が 5,155 万 4 千円で、前年比は 6 月が 101.8%、7 月が 78.9%となりました。このうち派遣業務の実績は、6 月が 758 万 4 千円、7 月が 842 万円でした。前年は 6 月が 890 万円、7 月が 1,017 万 9 千円で前年比は、6 月が 85.2%、7 月が 82.7%となりました。派遣事業はコロナウィルス感染の影響が続いていると考えられます。請負の職群別の 4~7 月実績では、除草が 35,227 千円で前年同月の 88.6%、剪定が 27,880 千円で前年同月の 86.8%でした。また、会員数は、7 月末現在で、905 名(男 598 名、女 307 名)となり、今年度に入って、45 名の減(男 32 名減、女 13 名減)となっています。これは 1 年間会費未納による資格喪失者が 30 名もあったことが大きな要因です。

業務報告について

6 月 17 日から 8 月 17 日までのセンターの業務及び理事長・常務理事の勤務実績(理事長 6 月~20 日、7 月~19 日、常務理事 6 月、7 月とも 18 日)の報告をしました。

定例監査結果報告書について

加納監事から総評・会計監査については、特に指摘事項はありませんでした。また、人件費に関する各種財務分析について説明がありました。宇田監事から業務監査で、企業会計と比較した公益法人会計の予算の組み方についてと未収会費の管理について指摘があり

ました。

正味財産増減計算書における収支状況及び資金繰表について

7 月末現在のシルバーの収支状況は、9,358 千円ほど収入が支出を上回っている状況です。前年同月では 18,072 千円収入が支出を上回っていました。昨年度も同様ですが、この時点で収入が支出を大きく上回っているのは市からの補助金 13,236 千円が一括交付されていることが大きな要因です。昨年度より収支差額が下回っているのは、収入面では事務費、材料費差額等が減になっているのと昨年度は大社連絡所の移転補償費が入っていたためです。支出面では、人件費等は下がっていますが、昨年度事業収入が伸びたことにより消費税が増加したのが要因です。また、正味財産の 7 月末残高は 40,194 千円です。

出雲市シニア調査結果報告書(生涯現役事業)

生涯現役促進協議会が 55 歳から 74 歳の高齢者を対象としたアンケート調査結果について報告がありました。回収率は約 4 割でした。この中でシルバー人材センターは多くの人に認知されており、女性がやや多く、70 歳以上では 8 割以上が知っているという結果が出ました。他にこれまで実施したセミナー、今後予定しているセミナーについて説明がありました。

正会員の承認について

7 月 18 日から 8 月 17 日までに受け付けた 5 名(男性 4 名、女性 1 名)の入会が承認されました。

財政見込について

今年度に入り、新型コロナの影響により、4 月~7 月の実績で、請負・委任業務が対前年度比で約 10%減、派遣業務は更に影響が大きく約 21%の減となっており、6 月理事会時点より派遣が 4%ほど回復した状況となり、今年度以降の収支見込をわずかですが、上方修正しました。

※理事会を傍聴できます

理事会の傍聴を希望される会員は、事務局へご連絡ください。なお、定員は 8 名です。

次回の理事会の予定：10 月 20 日(火)
(13:30-16:30 センター会議室)